

デザイン

JR 山陰本線連続立体交差化事業

によって創り出される西の新しい街並みと東の旧市街地の持つ伝統的街並みとを結ぶゲートとしての役割を果たすべくデザインいたしました。

JR

# 二条 駅

JR NIJO STATION



京都市建設局

ひと・まち・ロマン 元気都市・京都

(合)山陰本線

二条駅はJR山陰本線（二条駅～花園駅）連続立体交差化事業により、京都市の都市計画事業として整備したものです。



（旧二条駅舎）

旧二条駅舎は木造二階建て、左右対称の入母屋造りで、明治期の駅舎として現在残る数少ない和風建築であり、現在は梅小路蒸気機関車館敷地に移築し保存しています。これに変わる新駅舎は旧二条駅舎のデザインを継承し、「京の駅」にふさわしい駅舎として整備しました。



（新二条駅舎）

## デザイン

二条駅舎については、学識経験者等の指導のもとに、二条駅周辺整備事業によって創り出される西の新しい街並みと東の旧市街地の持つ伝統的街並みとを結ぶゲートとしての象徴性を持つデザインとしました。

具体的には、旧二条駅舎のシンメトリカルなデザインを継承し、大屋根を東から見れば「網笠門」など京都の伝統的な形態を想起させ、西から見れば地区の近代的な建築物との調和が図れるようシンボル性を高めた建築物と



官休庵

しました。

【あみがさもん「網笠門」】：路地（茶庭）に用いられる門の一、屋根の形状が昔の網笠に似てその名がある。

襖も軒先も曲線を描き、その軽快な姿が尊重され、京都大徳寺の弧蓬庵、武者小路千家（官休庵）にその好例が見られる。

出典 「建築大辞典」 彰国社

## 構造

鉄鋼と木材を組み合わせたトラス構造としています。

特に大屋根に木材と使用することによってぬくもりのある構造としており、材質はベイマツ湾曲集成材（110mm×150mm）と、通し集成材で木造のトラス架構を組み、両サイドに斜めに立ち上がる鉄骨トラスを用いて木造トラスを支持する構造としました。

屋根材は

構造用合板厚さ9mmの2枚重ね  
表面処理亜鉛合金板厚さ0.5mm  
一文字・スタンディングシーム葺き



## 構 造

駅舎敷地面積 5,997㎡

大屋根面積 1,860㎡

長さ 60m

幅 28m

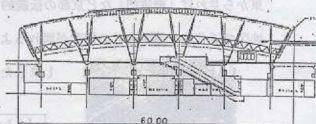
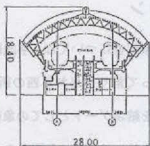
最高高さ 18.4m

最大スパン 16.56m

ホームの長さ 220m

エレベーター 1基

エスカレーター 1基



## 位置図



京都市都市建設局街路部立体交差課

TEL(075)222-3853

断ちきろう 身近な差別を 私から

一日も早く同和問題の解決を